

【普通作物】の【降灰】対策について

＜8月～収穫期＞

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【普通期水稻】

（１）予想される被害状況

- ① 用排水路で大量の灰が集積すると水路が機能しなくなる。
- ② 株に多量の灰が付着していると、薬剤の効果が低下する恐れがある。
- ③ 出穂期に多量の降灰があると、不稔が発生する場合がある。
- ④ 収穫や乾燥機械作業時では、機械の吸気システム等の故障が懸念される。

（２）事前対策

- ① 用排水路で灰が堆積しやすい場所では、水路内の泥を取り除くなど、早めに整備しておく。
- ② 降灰時に備え、ほ場での除灰や機械の点検や清掃等の作業計画を立てておく。

（３）事後対策

- ① 用排水路で灰が堆積したら、速やかに除灰する。
- ② 株に多量の灰が付着したら、散水したり払い落としたりする。
- ③ 機械作業時は、機械に付着した灰をできるだけ払い落とし、こまめに機械の吸気システムや刈取り刃等の清掃や整備に努める。
- ④ 収穫後も、収穫物や運搬資材等に灰の混入や付着が無いよう注意する。
- ⑤ 使用後の機械や乾燥施設等の点検や清掃、整備を十分に行う。

【大豆】

（１）予想される被害状況

- ① 多量の降灰があると生育が不良になったり、開花期では不稔が発生する恐れがある。
- ② 株に多量の灰が付着していると、薬剤の効果が低下する恐れがある。
- ③ 防除や収穫・乾燥作業時に、多量の灰が付着していると、機械の吸気システム等の故障が懸念される。

(2) 事前対策

- ① 降灰時に備え、圃場での除灰や機械の点検や清掃等の作業計画を立てておく。

(3) 事後対策

- ① 株に多量の灰が付着したら、散水したり払い落としたりする。
- ② 機械作業時は、株に付着した灰をできるだけ払い落とし、こまめに機械の吸気システムや刈取り刃等の清掃や整備に努める。
- ③ 収穫後も、収穫物や運搬資材等に灰の混入や付着が無いよう注意する。
- ④ 使用後の機械や乾燥施設等の点検、清掃、整備を十分に行う。

【ソバ】

(1) 予想される被害状況

- ① ほ場に多量の降灰があると、土壌が酸性となる場合がある。
- ② 多量の降灰があると生育不良や、開花期の不稔が発生する恐れがある。
- ③ 葉に多量の灰が付着していると、薬剤の効果が低下する恐れがある。
- ④ 防除や収穫・乾燥作業時に、多量の灰が付着していると、機械の吸気システム等の故障が懸念される。

(2) 事前対策

- ① 降灰時に備え、圃場での除灰作業や機械の点検、清掃等の計画を立てておく。

(3) 事後対策

- ① 播種前であった場合は、土壌診断を行い、酸度（PH）の調整を行う。
- ② 株に多量の灰が付着したら、散水したりする。
※この場合、水圧が強いと茎葉が損傷するので、状況により判断する。
- ③ 機械作業時は、付着した灰をできるだけ落としたり、こまめに機械の吸気システムや刈取り刃等の清掃や整備に努める。
- ④ 収穫後も、収穫物や運搬資材等に灰の混入や付着が無いよう注意する。
- ⑤ 使用後の機械や乾燥施設等の清掃、整備を十分に行う。